

2022年8月17日

輸送動向について（2022年7月分）

1. 輸送概況

コンテナは、新型コロナウイルス感染症に伴う需要低迷の影響等を受けたものの、前年に東海道・山陽線大雨等の災害影響を受けたことや、東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に伴う祝日移動が行われた反動により、ほぼ前年並みとなった。

紙・パルプは、紙需要減に伴う減産により低調となったほか、エコ関連物資は、建設発生土の輸送が2021年7月に終了したため前年を下回った。自動車部品は、半導体不足および海外からの部品調達困難により各社が生産調整を行った影響等で減送となった。

一方、積合せ貨物は、2021年10月からのブロックトレイン運転開始等により前年を上回ったほか、食料工業品は、気温上昇による飲料・アイス等の需要増に伴い砂糖の発送が好調となった。家電・情報機器は、エアコンの需要回復や一部顧客のモデルシフトの推進等により増送となった。コンテナ全体では前年比99.0%となった。

車扱は、石油が新型コロナウイルス感染症の影響緩和によりガソリンの需要増となり前年を上回った一方、石灰石は前年を下回った。車扱全体では前年比100.8%となった。コンテナ・車扱の合計では、前年比99.5%となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,552	1,568	99.0%	6,048	6,267	96.5%
車 扱	619	614	100.8%	2,286	2,253	101.5%
合 計	2,171	2,182	99.5%	8,334	8,521	97.8%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	88	89	-1	98.2%
	化学工業品	142	142	0	100.4%
	化学薬品	108	109	-1	99.3%
	食料工業品	281	276	5	101.9%
	紙・パルプ	166	179	-13	92.7%
	他工業品	117	119	-2	98.1%
	積合せ貨物	256	246	10	104.0%
	自動車部品	58	65	-7	89.8%
	家電・情報機器	30	25	5	120.0%
	エコ関連物資	37	45	-8	83.2%
	その他	268	273	-5	98.3%
コンテナ計	1,552	1,568	-16	99.0%	
車 扱	石油	422	389	33	108.5%
	セメント・石灰石	99	130	-31	76.2%
	車 両	64	64	0	99.0%
	その他	33	30	3	111.5%
	車 扱 計	619	614	5	100.8%
合 計	2,171	2,182	-11	99.5%	

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)